

骨髄細胞からの $\gamma\delta$ T細胞の産生

-iPS細胞由来胸腺上皮細胞を用いて-

従

$\gamma\delta$ T細胞は癌や感染症に効果があるが、骨髄細胞からの分化・誘導は困難であった。

開

iPS細胞由来胸腺上皮細胞と造血幹細胞に精製した骨髄細胞を共培養する事によって、 $\gamma\delta$ T細胞を分化させる事に成功した。

機能

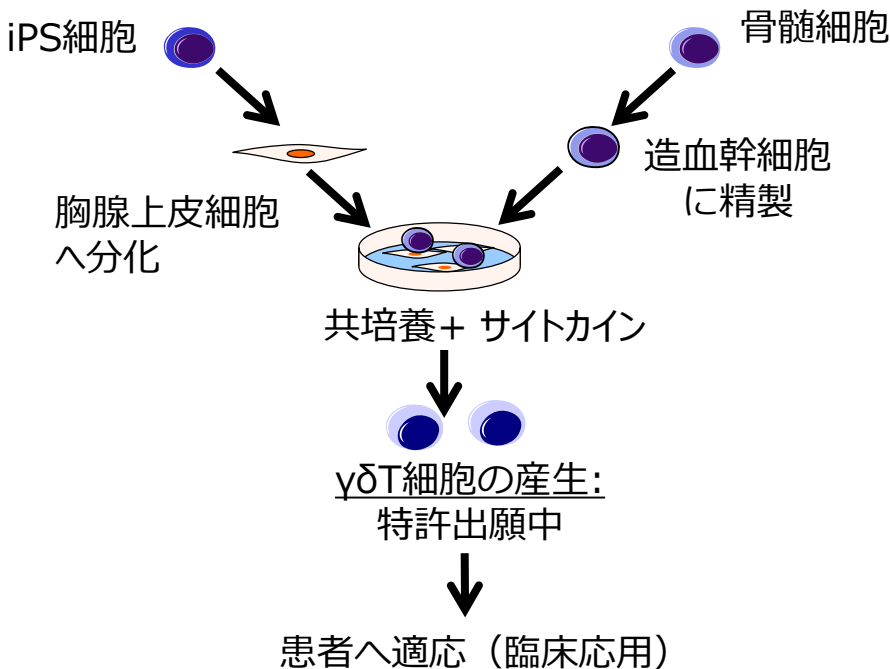
創薬

狙

産生された $\gamma\delta$ T細胞は担白血病宿主にて抗腫瘍効果を示し生存を延長した。

他の悪性腫瘍や感染症への細胞治療薬を目指す。

■癌や感染症に向けた細胞治療創薬に向けて



今回は動物実験であるが、ヒトへの応用を目指す。
 $\gamma\delta$ T細胞はMHC非拘束性に反応することが知られており、骨髄バンク或いは備蓄iPS細胞を用いれば、患者の負担無くより広く施行できる。

〈問い合わせ先〉

産学知財統括室 佐々木健一 sasakikn@hirakata.kmu.ac.jp 溝上、田中 sangaku@hirakata.kmu.ac.jp

〈研究内容に関して〉

衛生・公衆衛生学講座 保坂 直樹 hosakan@hirakata.kmu.ac.jp